

「不易流行」

よき伝統を守りながら(不易)
 進歩に目を閉ざさないこと(流行)によって
 「理想」を創造する

住民サービスの向上に つなげる職員提案

本年8月1日から職員による事務改善提案を募集する仕組みをつくりました。事務改善提案とは、町民サービスの向上となるもの、事務の能率の向上となるもの、収入の増加又は経費の節減となるもの等につながる提案のことです。初めての取組みなので、提案が出てくるかどうか不安でしたが、4名の職員から提案がありました。本来の仕事で忙しい中、提案してくれた職員に感謝したいと思います。その後、審査委員会を開催し、優秀賞を選定しました。住民課の谷口宗一郎主任による「文書管理改善プログラム」という提案です。江府町役場が慢性的に抱えている課題について、真っ向から提案していること。個人情報漏えいリスクの低下、住民サービス提供の効率向上、雑然としたオフィス環境の改善などを、お客様目線で改善しようとしていること。個人、課、



▲町長室にて表彰を受ける谷口宗一郎主任

庁舎全体における特性を分析し、かつ緊急な課題であること等を勘案して、優秀賞に選定したところです。文書管理については、江府町役場において過去に何回かトライしましたが、現在のところまだまだ改善の余地があります。新庁舎は平成32年度の完成を目指し、現在設計中です。完成すれば、現庁舎から大量の文書を移動させなければなりません。その時に、スムーズな移動ができるよう、江府町役場全体が一丸となって、この提案の実現に取り組んでいきます。そして、職員提案制度は来年度も継続させます。さらに多くの職員から事務改善の提案がなされ、その中から住民サービスの向上につながるものが新たに出てくることを期待しています。

「3000人の楽しい町」 プロジェクトチーム活動報告

「親しみやすい庁舎をみんなで作えよう」役場庁舎を使って、町を楽しくするには。新庁舎の建設に向け、町民のみなさんの声を活かそうと取り組んだワークショップは、先日、いよいよ設計図(案)公開会議の日を迎えました。公共施設の建設にあたり、その設計図を一般公開する：一口に「図面公開会議」と言ってしまうとそれまでですが、完成前の設計図を前に、職員と町のみなさんが意見を出し合い、実際に設計を担当された業者の方の考えを聞くことは、おそらく江府町はじめて以来のこと。少し大きですが、そういう意味では、9月22日は歴史的な日だったということになります。

当日は、まず、庁舎敷地内の配置図・庁舎内の平面図について、総務課担当者から3案の説明を受けた後、三つのグループに分かれて話し合いを進め、施設についての質問、使い方の提案などを行いました。各グループから出された質問や提案は、おおまかに言うと、防災に配慮され災害に強いこと、いざという災害対応の時、できるだけ自由にレイアウトでき、情報が共有しやすいこと、来客にわかり

やすい表示、多目的スペースや会議室などを町のみなさんが使用される際の運用方法でした。特に近年は、地震や豪雨災害などが多く発生しており、各地で大きな被害が出ていることから、みなさんの関心が高く、ご自身の経験から情報共有の大切さについてのご意見もいただきました。また、昨年度のワークショップの中で出ていた「カフェや食堂がある」といいう提案に関連して、2階の『憩広場』のスペースで地元の方が作った弁当の販売ができたり、飲み物はもちろん、食べ物自動販売機があつたりすると、多目的スペースが生きるのではという意見が出されました。給食センターと隣接していることから、ここを活用する可能性はゼロではないのかもしれない。

いただいたご意見・ご提案は、9月26日に開かれた、議会庁舎建設等調査特別委員会で説明しました。今後、議会での議論を加味して修正された平面図が示され、いよいよ設計は最終段階に入っていきます。出来上がった設計図の説明会も開かれますので、ぜひお出かけください。

動画で町報こうふ!

以前の報告会の様子は動画サイトyoutubeでご覧いただけます。